



# 提出資料

2021年5月

一般社団法人 ITフリーランス支援機構



# ITフリーランスの特徴

当機構が個人会員として定義しているITフリーランスとは  
企業等に雇用されず独立自営業者として事業活動を行っているIT人材

## ITフリーランスの特徴

- ・豊富な業務経験
- ・専門知識の活用による高い顧客ニーズ理解力
- ・高度なITスキル・クリエイタースキル
- ・高いコミュニケーション力
- ・強いリーダーシップ力
- ・自己研鑽・自己投資への高い意欲

ITスキルやクリエイタースキルをベースとして、独立後は様々な業種の企業との契約を通じて着々と経験値を高めている。顧客やプロジェクトのニーズに積極的・能動的に応えるため、IT人材としての価値が高い。IT企業・ユーザ企業の正社員や派遣スタッフとの比較では相対的に高スキル人材が多い傾向にあるのが特徴。

# IT人材の仕事

職種	仕事内容
ITコンサルタント	IT戦略の立案及び情報システム、ソフトウェア、Webページのコンサルティングを行う
プロジェクトマネージャー（PM）	情報処理システムやソフトウェア開発、Webページ制作等のプロジェクト責任者
プロジェクトリーダー（PL）	PMの方針に沿ってプロジェクトのメンバーをまとめる
システムエンジニア（SE）	情報処理システム、ソフトウェア等の設計や設計書の作成をする
プログラマ（PG）	SEが作成した設計書に基づいてプログラムを作成する
サーバーエンジニア	サーバーの設計、構築、運用、保守を担当する
ネットワーク（NW）エンジニア	NWの設計、構築、運用、保守を担当する
データベース（DB）エンジニア	DBの設計、構築、運用、保守を担当する
セキュリティエンジニア	情報処理システム、ソフトウェア、Webページのセキュリティ管理及び監査を行う
運用保守エンジニア	サーバーやNWの運用監視や障害時の対応を行う
テストエンジニア	システムやソフトウェア開発におけるテスト計画、設計、実施を担当する
社内SE	社内の情報システムの設計・開発・運用保守など全般を担当する
製品開発／研究開発エンジニア	情報処理システム、ソフトウェア、Webページに活用する新製品や新技術の研究及び開発を行う
データサイエンティスト	ビッグデータを用いた情報の収集・分析や改善策の策定を行う
アプリケーションエンジニア	Webページやアプリケーションの設計、開発、運用を担当する
Webデザイナー	Webページのデザインやコーディングを担当する
Webディレクター	Webページや動画制作時において人員の配置や工数・スケジュール・予算管理等を行う

# ITフリーランスの就業実態

契約形態	準委任契約もしくは請負契約
作業内容	関係者で合意のうえ契約で定める。 顧客やプロジェクトのニーズに応じて、自身の専門知識やスキルを活かし業務を行う。 会社に雇用されているIT人材より難易度の高い仕事を任されるケースが多い。
作業時間	関係者で合意のうえ契約で定める。副業解禁により週4以下での作業も増加傾向。
作業場所	関係者で合意のうえ契約で定める。発注先企業への常駐以外にも在宅等のリモート作業もコロナ禍で増加傾向。必要に応じて出張も発生。
報酬	関係者で合意のうえ契約で定める。準委任契約の場合は工数（稼働時間数）により変動するケースが多く、業務の遂行をもって報酬が支払われる。一方で請負契約の場合は工数によらず一定額で、成果物を納品することにより対価として報酬を得る。
災害状況	会社に雇用されているIT人材と同様なケースが多く、過度なストレスや過重労働などに起因する精神疾患、脳・心臓疾患、腰痛、坐骨神経痛、椎間板ヘルニア、腱鞘炎を引き起こす事例が中心。

# IT人材の人口推計（日本）

## 人口推計

全体	約1,574,000～1,654,000人
正社員	約1,398,000人 ※1 ※3
フリーランス	約176,000～256,000人 ※2 ※3

※当機構にて推計

## 参考文献

※1：「IT人材白書2020」（独立行政法人 情報処理推進機構）

<https://www.ipa.go.jp/files/000085256.pdf>

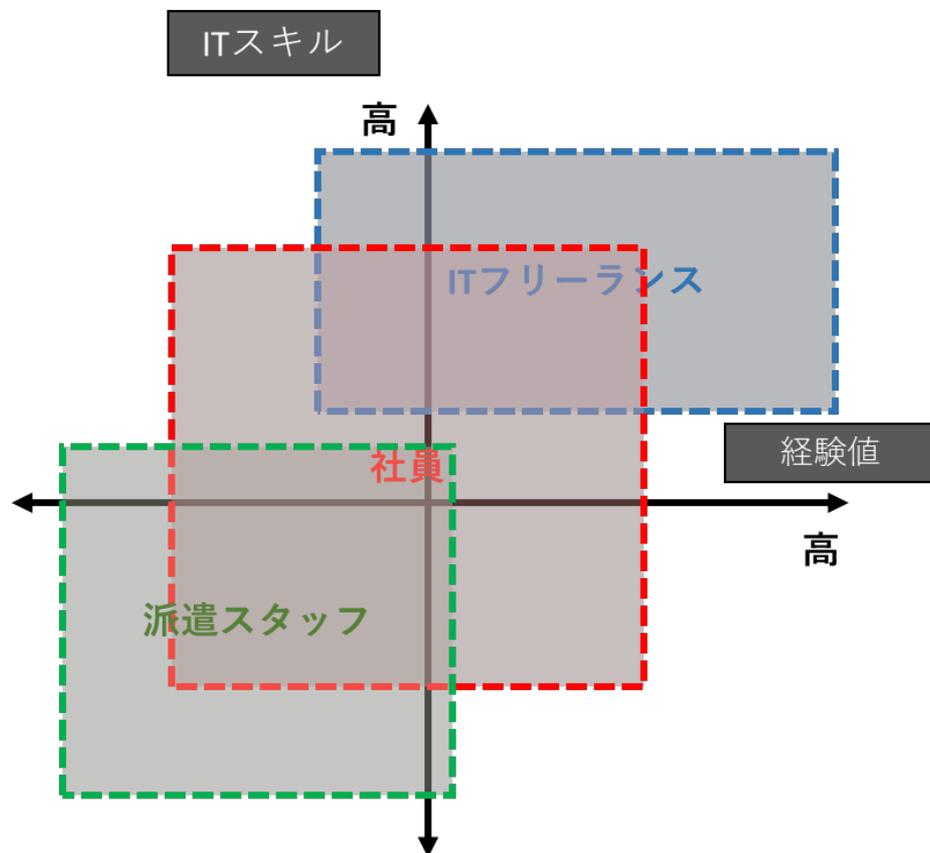
※2：「データで見る日本のフリーランス」（リクルートワークス研究所）

[https://www.works-i.com/research/works-report/item/freelance2020\\_jp\\_3.pdf](https://www.works-i.com/research/works-report/item/freelance2020_jp_3.pdf)

※3：「デザイン政策ハンドブック2020」（経済産業省特許庁）

<https://www.meti.go.jp/press/2020/04/20200420003/20200420003-1.pdf>

# ITフリーランスへの期待や活用シーン（発注企業）



## 難易度が高いジョブやタスク

### 生産性がより高く求められる局面

企画、設計、プログラミング、運用保守などのすべての工程において高い生産性が要求される局面

### 幅広く業種・業界知識が求められる局面

ユーザ要求分析・整理、要件定義、設計内容の検証等

### 新技術や高い技術力が求められる局面

システム構成、アーキテクチャ設計、プログラム実装方針等

### トラブル・リカバリ対応が求められる局面

スケジュール遅延、手戻り発生、不具合発生時の即時リカバリ対応

そのほか、ユーザ企業やIT企業では慢性的なIT人材不足があり  
ITフリーランスが人材の量と質の両面で人的課題の一端を支えている

# ITフリーランス業界の課題

## ITフリーランスが活躍できる環境整備

発注企業及びITフリーランスに対して適正な取引ルールに関する啓発・推進を行い  
安心・安全な契約のもとでITフリーランスが活躍できる環境を整える

## セーフティネットの拡充

過重労働、ストレス等に起因する精神疾患や脳・心臓疾患への疾病リスクは企業に雇用される  
場合と同程度であるため、ITフリーランスに対しても補償制度や補助制度を設ける

## “事業主”としての責任や意識の醸成

働き方改革の推進やエージェントの増加によりフリーランスへの転身が容易になる一方で  
“事業主”としての責任感や自覚は個人差があるため、知識や姿勢を学ぶ機会を提供する

## 喫緊の課題

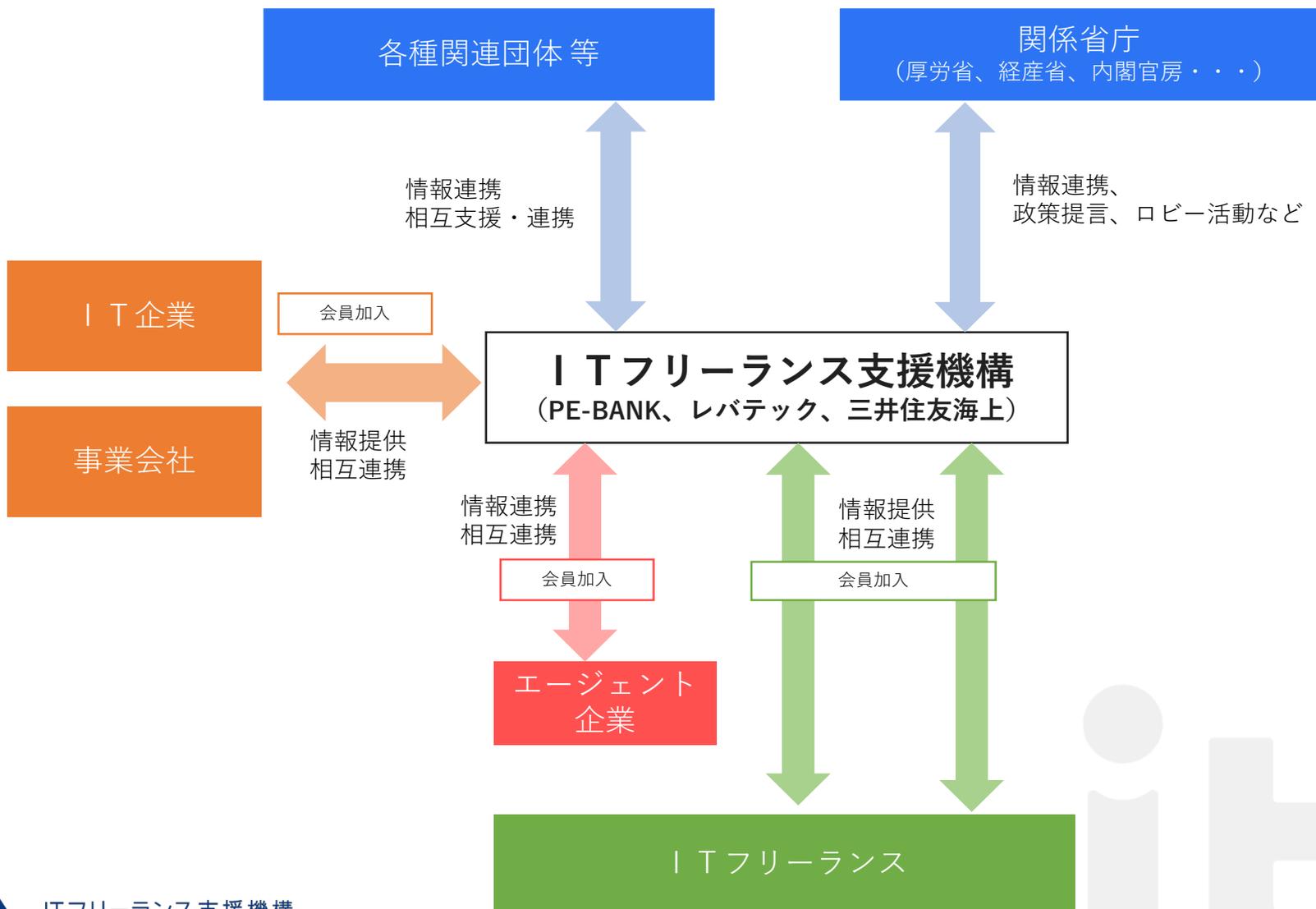
## ITフリーランスの社会的受容を阻害する課題の見える化

# ITフリーランス支援機構 | 組織体制

業界最大の支援ネットワークを目指して、ITフリーランスがより活躍できる社会に

名称	一般社団法人 ITフリーランス支援機構
設立日	2021年2月1日
所在地	東京都港区
代表理事	高山 典久（株式会社PE-BANK 常務取締役）
理事	高田 幹也（株式会社PE-BANK 代表取締役 社長） 高橋 悠人（レバテック株式会社 ITソリューション事業部 部長） 近藤 綾香（レバテック株式会社 ITフリーランス推進室 室長） 石井 昇（三井住友海上火災保険株式会社 金融公務営業推進本部 部長）
監事	又吉 秀智（株式会社MCEAホールディングス）

# ITフリーランス支援機構 | 業界ネットワークの形成



# ITフリーランス支援機構 | 活動内容

## 実態調査・政策提言

ブラックボックスと化しているITフリーランスの実態について関係各所に調査・ヒアリングを行う。ITフリーランスと事業者間の取引について関係省庁への提言を通じ、より実態に即したガイドラインが策定されることを目指す。

## 活動支援・環境整備

ITフリーランスへの支援サービスや各種補償などの環境整備を行う。関係省庁・団体と連携し公的サービスや制度の普及活動を通じて、ITフリーランスを選択するリスクの軽減を目指す。

## 人材育成・推進活動

ITフリーランスというキャリアを不安なく選択できるよう、適正な活動を行うための知識や姿勢を学ぶ機会を提供する。企業へのアドバイスや推進活動を通じて、より多くのITフリーランスが活躍できる機会の創出を目指す。

# ITフリーランス支援機構 | 活動計画

## 会員目標

会員区分	対象	2021年度	2022年度	2023年度
個人会員	ITフリーランス IT人材	4,000人	6,500人	1万人
法人会員	エージェント企業 IT企業・事業会社	10社	25社	35社

## 重点テーマ

### 1. 業界ネットワーク形成

- ・法人会員 35社 個人会員（ITフリーランス）1万人の加入促進
- ・関連団体や地方自治体との連携

### 2. ITフリーランス動向・意識調査の実施

情報処理推進機構（IPA）ほかと連携した各種調査活動

### 3. ITフリーランス向け保険の開発

三井住友海上火災保険株式会社と共同開発

### 4. DX推進

国内のDX推進に資する各種活動

# 労働災害の実態

## 労働災害の内容

精神疾患・腰痛・坐骨神経痛・椎間板ヘルニア・腱鞘炎・通勤時の事故

精神疾患に関しては、職種上納期が厳格に定められている場合が多く、過剰なストレスが生じる事例が多い。腰痛を代表とする身体的疾患は長時間同じ姿勢での業務となることにより発生している。

## 公的情報からの考察

下記の参考文献では、IT業及び情報通信業の就業現場に置いて過度なストレスや過重労働などに起因する精神疾患、脳・心臓疾患の多発を指摘している。報告や指摘事項はいずれも労災加入しているIT人材に関する内容であるが、当機構への加入を想定しているITフリーランスも同じ業界・職種で働いているため、p.3に記載のある職種に該当するITフリーランスにも労働災害の実態が当てはまると考える。なお、労災認定までの過度な状況には至らないケースでも過重労働やストレスが原因で腰痛、坐骨神経痛、椎間板ヘルニア、腱鞘炎を引き起こす事例も認められる。

## 参考文献

「IT業におけるストレス対処への支援」（厚生労働省 中央労働災害防止協会）  
<https://kokoro.mhlw.go.jp/brochure/supporter/files/stresstaisyo22-it.pdf>

「情報通信業のシステムエンジニアとプログラマーにおける過労死等の労災認定事案の特徴」（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/josh/advpub/0/advpub\\_JOSH-2020-0002-GE/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/josh/advpub/0/advpub_JOSH-2020-0002-GE/_pdf/-char/ja)

「情報通信業における労災認定事案の特徴に関する研究」（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）  
[https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku\\_overwork\\_2018.pdf#zoom=100](https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku_overwork_2018.pdf#zoom=100)

# 労働災害に関する調査（PE共済会調べ）

## ITフリーランスの就業時における怪我・病気

調査対象：PE共済会加入者であるITフリーランス約650名

調査方法：過去3年間の各種給付金・手当の実績をもとに集計



### PE共済会 過去3事業年度給付状況（事業活動に関連した給付のみ）

	2020年度	2019年度	2018年度
共済会加入者数 ※年度末	626名	575名	541名
共済会加入者平均年齢	42歳	43歳	42歳
就労不能による給付件数	9件	9件	3件
上記の症例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患</li> <li>・脳機能障害</li> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・骨折その他</li> <li>・内臓疾患</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患</li> <li>・脳機能障害</li> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・内臓疾患</li> <li>・骨折その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障害</li> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・骨折その他</li> <li>・精神疾患</li> <li>・内臓疾患</li> </ul>
入院治療による給付件数	10件	6件	13件
上記の症例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障害</li> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・内臓疾患</li> <li>・骨折その他</li> <li>・精神疾患</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・内臓疾患</li> <li>・骨折その他</li> <li>・脳機能障害</li> <li>・精神疾患</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内臓疾患</li> <li>・骨折その他</li> <li>・心筋梗塞等</li> <li>・脳機能障害</li> <li>・精神疾患</li> </ul>
給付件数合計	19件	15件	16件
給付対象者平均年齢	49歳	46歳	48歳

※就労不能と入院治療の件数には重複されるものがあります。

※症例は件数の多いものから上より順に表示しております。

## 労働災害に関する調査（PE共済会調べ）

ITフリーランスの事故例実績(PE共済会の事故実績データより)

2018～2020年度 給付実績例

疾患内容	業務が起因
右足骨折。脱臼なども同時にしており、1回の入院では終わらないと診断。 第2～5中足骨骨折、リスフラン関節脱臼骨折6.5等級。	○
心室細動、狭心症による緊急入院、手術のため給付。	○
脳出血による意識障害のため給付。後遺症有り。	○
一過性脳虚血発作のため給付。	○
精神疾患の疑い、1/20より休業のため給付。	○
頸椎椎間板ヘルニア、頸髄症のため給付。	○
イレウス(腸閉塞)による入院のため給付。	×
肺塞栓、心静脈血栓のため緊急入院による給付。	○
心房細動に対するカテーテル治療のため給付。	○
切迫早産および切迫子宮破裂の疑いによる手術および出産のため給付。	×
うつにて7月から休業。計3回3ヵ月間の給付。	○
うつにて6/26を最後に休業のため給付。9月より回復とのこと。	○
人工血管感染(7年前の大動脈解離手術の際のカテーテルに菌が混入)による入院のため給付。	○
副鼻腔炎による1週間の入院のため給付。	×
精神疾患により給付。2017/12から休業し、精神障害者手帳を申請。	○

## 労働災害に関する調査（PE共済会調べ）

2018～2020年度 給付実績例

疾患内容	業務が起因
適用障害、及び抑うつのため給付。	○
第2～5中足骨骨折、リスフラン関節脱臼骨折により給付。	○
うつによる給付。	○
真珠腫性中耳炎のため給付。	×
転倒し眼球破裂。適応障害の診断(眼球破裂の後遺症で画面が2重に見える)のため給付。 12月に再度網膜剥離が見つかり緊急入院のため給付。	○
2型糖尿病のため給付。	×
虫垂炎。2回に分けて15日間の給付。	×
高血圧性心疾患。心臓カテーテル手術のため給付。	○
十字じん帯損傷、半月板損傷で13日の入院のため給付。	○
心房細動に対するカテーテル治療 ※再発により再手術のため給付	○
精液瘤にて入院給付。	×
骨折再手術(ボルト除去等)のため給付。	○
急性大動脈解離のため給付。	○
右特発性大腿骨頭壊死。人工関節を入れる手術のため給付。	○
ラクナ梗塞。右不全麻痺の為、歩行、書字、入浴などの日常生活が困難。 脳神経外科の回復期病棟に入院のため給付。	○
ストレス反応性抑うつのため給付。	○
階段から落ちて足首を骨折。リスフラン。ボルトを入れる手術をするため入院給付。	○
間質性肺炎(多発性筋炎の合併症)のため給付。	×
交通事故による右半月板損傷のため給付。	○
肺血栓塞栓症による入院のため給付。	×

## 労働災害に関する調査（PE共済会調べ）

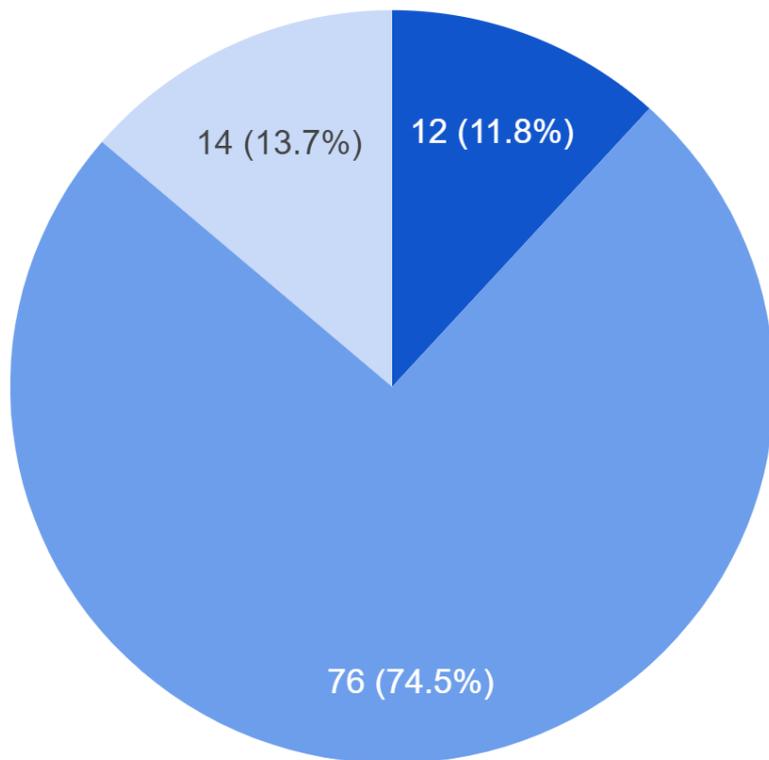
2018～2020年度 給付実績例

疾患内容	業務が起因
左続発性気胸で入院のため給付。	×
ラクナ梗塞。右不全麻痺のため給付。	○
左突発性大腿骨頭壊死症。人口関節置換の手術にて入院のため給付。	○
高CPK血症・低カリウム血症で体動障害・歩行障害で救急搬送により給付。	○
混合性抑うつ障害のため給付。	○
大動脈弁閉鎖不全症のため給付。	○
腔口外科(智歯周回炎)のため入院、給付。	×
コロナ後遺症による給付。	○
糖尿病のため給付。	×
パニック障害のため給付、及び上行結腸憩室炎で7日間の入院給付。	○
大腸の炎症(S状結腸憩室炎)により入院のため給付。	×
下部消化管出血で入院のため給付。	×
急性虫垂炎のため給付。	×
左尿管結石症により入院、給付。	×
左上顎骨嚢胞で入院のため給付。	×
胸椎化膿性脊椎炎で入院のため給付。	×
ヘルニアによる手術及びその前に糖尿治療のため給付。	○
大腸の不調をきっかけに精神疾患(うつ)を発症し給付。	○
脳梗塞のため給付。	○
急性虫垂炎のため給付。	×

## 労災特別加入に関する意識調査（レバテック調べ）

約**86.3%**が「加入したい」もしくは「加入を検討したい」と回答

Q.労災特別加入に対する興味・関心について教えてください



加入したい	11.8%
加入を検討したい	74.5%
加入しない	13.7%

調査概要：労災特別加入制度に関する意識調査  
調査対象：「レバテックフリーランス」の登録者  
調査期間：2020年10月12日～2020年12月31日  
調査方法：Webアンケートでの調査（無記名）  
有効回答数：102件（単一回答）

## 当機構の労働災害防止活動（案）

### 当機構による安全衛生及び災害防止措置に関する啓蒙活動

- ・ オンライン及びオフラインでの双方向による講習や研修
- ・ パンフレット配布

### 当機構サイトに安全衛生及び災害防止措置に関する情報掲載

- ・ セミナー情報、パンフレット（関係省庁及び団体が提供する情報含む）
- ・ メンタルヘルス等の相談窓口

### 当機構の法人会員に対する取り組み

- ・ 当機構の法人会員は安全衛生及び災害防止措置の努力義務を加入要件とする
- ・ 法人会員は当機構へ定期的に安全衛生及び災害防止措置の実施状況を報告
- ・ 当機構より各法人会員へフォローアップを適宜実施

# 設立趣意書

業界最大の支援ネットワークを目指して、ITフリーランスがより活躍できる社会に

今般のコロナ禍によって、我が国がIT後進国であることが大きく露呈しました。国家として、DXを含めた高度な先端技術を持つIT人材の必要性をまざまざと見せつけられ、官民を挙げた人材育成取組が待った無しの最重要課題であることを突き付けられたのではないのでしょうか。

他方では、第四次産業革命や人生100年時代といった異次元とも呼べる環境変化の中で、“働き方”や“企業と働き手の関係性”も大きく変わりつつあります。それぞれの働き手が自らの望むように働き、その能力を最大限発揮し、自律的なキャリア形成を行えるようにするためには、多様で柔軟な働き方が選択肢として確立されることが極めて大切です。

我が国のIT人材のうち、どの企業・組織にも属せずフリーランスとして働いている、いわゆる”ITフリーランス”が少なくありません。私たちITフリーランス支援機構は、ITフリーランスの皆さまが安心して働ける環境を整え、その活躍のすそ野を大きく広げていくことが喫緊の社会的要請と考えています。

残念ながら、まだまだITフリーランスとの契約に消極的な企業も少なくありません。ITフリーランスの皆さまが安心して働ける環境作りだけでなく、我が国においてITフリーランスの活躍が広く定着し、その社会的受容の高まりを実現したいと切に願っています。

ITフリーランス支援機構は、業界の健全化と永続的な繁栄の実現に向け、ITフリーランスの皆さまやサポートするエージェント企業の皆さま、さらにITフリーランスを支援する各種団体や行政機関等と緊密に連携しながら、多様で柔軟な働き方としてITフリーランスという選択が当たり前になり、夢を描ける職業として我が国に浸透することを目指し全力を挙げて活動して参ります。

当機構が、激動する労働市場の中であってレジリエントな存在として真にお役に立てる団体となるために、広く皆さまからの声をお聞かせいただければ幸いです。ITフリーランス支援機構に是非ご期待ください。